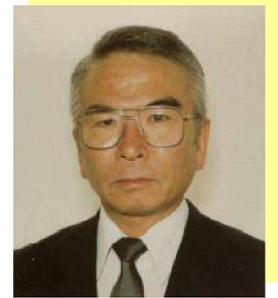


「ガバナー補佐として」(雑感)

国際ロータリー第2640地区IM4組

ガバナー補佐 植山 忠郁 (橋本紀ノ川ロータリークラブ)



快晴に恵まれた絶好の花見日和。今が盛りと咲き誇る桜の花。ピンク一色に囲まれた橋本カントリークラブ大ホールで橋本ロータリークラブ主管の第2回3クラブ合同花見例会が会員100余名の出席のもと4月12日盛大に開催されました。14日の地区大会の準備のため徹夜が続き、満足に食事を摂っていない超多忙の三軒ガバナー副代表幹事を御招きし、交歓すると共に「地区大会について」をテーマにご講演を賜わり、会員一同認識を深め、友情の絆を深めることが出来ました。

この合同例会の参加クラブは、過般 創立50年、20年、10年の周年記念事業を各々実施した橋本ロータリークラブを親クラブとする高野山及び橋本紀ノ川ロータリークラブであり、私が担当することを指示されているクラブであります。

この合同例会は3クラブ会長・幹事の自主的な発案により、自由に企画されており、第1回は9月21日高野山ロータリークラブ主管により恵光院(宿坊)をお借りし開催されています。

また、第3回合同例会は橋本紀ノ川ロータリークラブ主管により橋本商工会館で5月22日開催が決定されています。

従来よりお互いの交流活動を続けてきたクラブがこの度新しい趣向を加え、素晴らしい内容の濃い合同例会を年間3回開催されているかについて述べさせて頂きたく存じます。

06年3月末、クラブ会長により次年度ガバナー補佐就任要請を受けました。GLPに基づくガバナー補佐制度について多少の認識が有ったとはいえ、具体的な職務内容は熟知せず、無謀にも就任を受諾したことを反省したのは事実であります。

その後三軒ガバナーのご指導を受け、研修セミナー、クラブ委員長会議等々、各種地区の会合へ出席させて頂くことによりロータリーに関する知識も多少なりとも深めさせて頂くことが出来ました。

この様な機会を与えて下さいました関係各位に深謝致したいのが現在の心境であります。年度開始に当り、担当クラブの会長・幹事のご理解の基に初めての会合を持つことが出来ました。

各クラブ共、立てた計画目標に最善をつくすこと。課題解決に積極的に取り組むこと。会員の絶大なる理解と協力を得て順風満帆に推移しているとのお話を聞き安心しました。この会合

での関心事は地区内クラブの会員増強・退会防止問題とCLPの導入問題でありました。しかし当地区ではCLPの検討不足がCLPに対する不安を増幅させているとの考えより、本年度は研究年度と位置づけ、クラブの要望に応じ資料等提供させて頂くとの方針を伝達致しました。

とはいえ、魅力あるクラブづくりにCLP導入が最良であるとするRI理事会の考え方の中で導入は避けることが出来ないと思います。

その時各クラブが特色のある奉仕活動を実施するのも一つの手法でもあるが、クラブ同士が競り合っても地域社会にクラブの存在感を示す効果は少ないのではないかと考えます。そこでクラブ区域(地域)が同じである、3クラブが合同してより規模の大きい奉仕活動プログラムを打ち出し、クラブを超えて「合同」で活動・実施する。また、ロータリーの方向性が一致した広報活動を展開する方が、合理的、効率的、且つ住民の理解を得易いとの思いを唱えたところ異論もあつたことと思いますがご理解の賜わり今回の合同例会が開催されたものと理解致しています。

咲き誇っていた桜も散り、葉桜・若葉の季節。本年度も余すところ2ヶ月となりました。この合同例会の発展・継続を要望する声をお聞きする時、3クラブの情報交換活動を通しての絆の深まりが将来の素晴らしい合同奉仕の事業展開に発展することを確信すると共に祈念致したく存じます。

(RI第2640地区マンスリーレター・2007年5月号より)